

# 八重山毎日新聞

THE YAEYAMA MAINICHI SHIMBUN

11月29日 金曜日

2013年(平成25年)

発行所

株式会社 八重山毎日新聞

〒907-0004 沖縄県石垣市宇登野城614

金子さんが中心となり復元された山口県下関の郷土玩具「ふく笛」=金子晴彦さん提供



## 石垣焼窯元の金子当主

石垣市名蔵の石垣焼き窯元(金子晴彦当主)が復刻プロジェクトに深く携わった山口県下関の郷土玩具「ふく笛」がこのほど復元され、山口県の下関美術館に贈られた。

ふく笛は下関で有名なフグを形にした郷土玩具。実業家で美術品の収集でも知られた故河村幸次郎氏(1901-94年)がデザインした。戦後、数が減少し、数個しか存在せず「幻の

## 下関の郷土玩具「ふく笛」復元

### 美術館などに1200個贈る

笛」と呼ばれていた。

金子さんらプロジェクトメンバーは1年2カ月かけ、ふく笛を復元した。幸次郎氏の娘、美代子さんに復元を依頼された金子さんはふく笛の歴史を文献で調査。早稲田大学に依頼し、コンピューター利用設計システム(CAD)を使って現物の表面をスキャン。厚みやへこみ具合、吹き口の角度などを数値化。正確な設計図を作製し、オリジナルに近づけたという。

金子さんは「技術的に非常に難しかった。でき上がった笛を見たときは感無量だった」と振り返った。

ふく笛は1200個作り、当時を知る地元のお年寄りなどに贈ったほか、同美術館に寄贈された。